

令和8年度県市町村GX推進会議
情報提供資料

**「ENEOSリニューアブル・エネルギーとの
包括連携協定の締結」に伴う
再エネ導入の推進と地域との共生について**



釜石市

令和8年5月26日(火)

令和3年10月 ゼロカーボンシティ表明

- 恵まれた貴重な自然環境を未来の子どもたちに引き継ぐ
- 2050(令和32)年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す

令和5年10月 第二次釜石市環境基本計画 策定

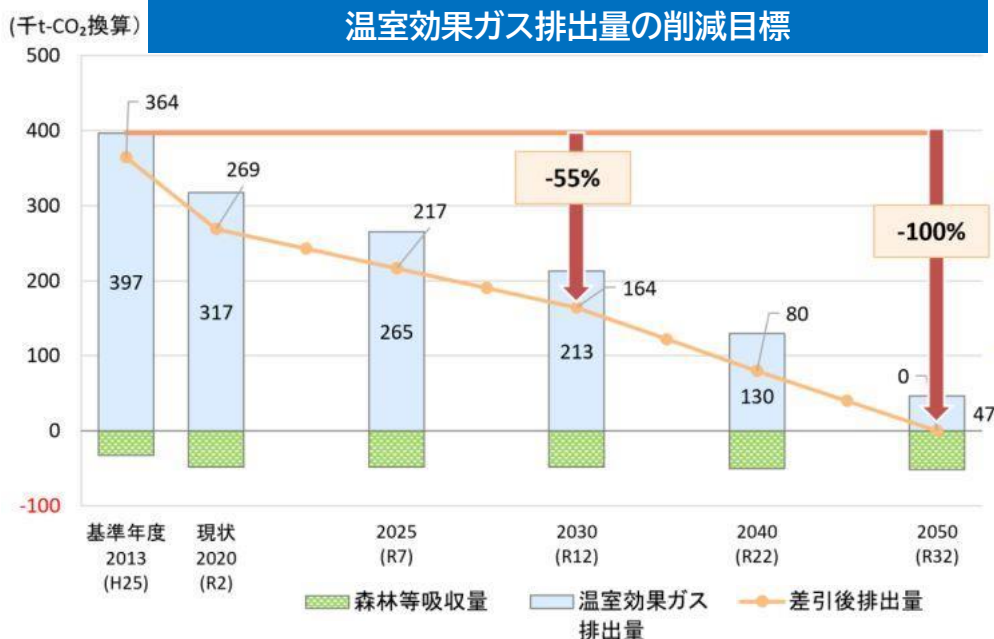
【釜石市地球温暖化対策実行計画（区域施策編を含む）】

【計画目標】温室効果ガス排出量を2030（令和12）年度に2013（平成25）年度比**55%**削減

- 意欲的に対策を進めることによって実現を目指す

【長期目標】2050（令和32）年度に温室効果ガス排出量実質**ゼロ**

- ゼロカーボンシティの実現を目指す



再生可能エネルギー導入目標(再エネビジョン)

再生可能エネルギーの種類	導入量現在 (R4.3)	2030年度	
		追加導入量	追加後導入量
発電	太陽光	12,520kW	30,897kW
	風力(陸上)	17,160kW	76,860kW
	中小水力	650kW	2,539kW
	バイオマス	8,850kW	8,850kW
熱利用	バイオマス	0kW	480kW
合計	39,180kW	89,806kW	119,626kW

約
3倍

時 期	内 容
R3.10	ゼロカーボンシティの表明
R5.10	「第二次 釜石市環境基本計画(区域施策編含む)」策定
R6.3	「釜石市再生可能エネルギービジョン」策定
R6.4	「釜石市再生可能エネルギーの適正な促進に関するガイドライン」策定
R6.9	脱炭素先行地域（第5回）選定
R7.6	再生可能エネルギーゾーニングマップの公表
R9.3	促進区域の設定、地域脱炭素化事業の促進に関する事項の策定を予定

	釜石市	ENEOS リニューアブル・エネルギー
ミッション	ゼロカーボンシティの実現に向け、再エネ導入の誘致活動などの実施	太陽光発電の候補地を検討
課題	震災により被災した用地の活用を模索	開発行為が少ない用地
結果	被災した公共と民間の用地に太陽光発電を立地	
効果	民間も含めた用地の利活用が推進	開発行為の少なさのほか、立地までのコスト(手続きなど)も少なく立地に至る

包括連携協定の締結_R6.8.5



唐丹町片岸地区の太陽光発電所

(JRE 釜石市片岸地区太陽光発電所_1,539kW_R7.3.10運転開始)

締結に至った経緯

双方より市内での再エネ導入を促進する目的から協定締結を協議。協定締結にあたっては、再エネ導入の促進だけでなく、地域との共生についても協定内容に含める。

→ 令和6年8月5日に包括連携協定を締結

包括連携協定の内容のうち連携事項

- 再生可能エネルギーの導入促進に関すること
- 持続可能なまちづくりの推進に関すること
- その他目的の達成のため必要な事項

具体的内容

- ① 企業版ふるさと納税
- ② 学習コンテンツ付ノートの提供
- ③ ENEOSリニューアブル・エナジー奨学基金の活用
- ④ 発電立地地区への地域貢献
- ⑤ 社会福祉協議会支援
 - ・ るるぶ特別編集版発行
 - ・ ENEOS野球部による中学生向け野球教室の開催
 - ・ 防災イベントの実施

学習コンテンツ付ノート



るるぶ特別編集版



協定締結による効果

- 再エネビジョンの導入目標の前進
- 再エネ施策のタイムリーなキャッチアップとそれに伴う施策の検討
- 地域との共生
- 市内における太陽光発電立地の基準(モデル)が確立
市ガイドラインが適用された最初の事業
- 市内インフラの利活用
- 他市町村への横展開

今後の展開

国の方針を踏まえ、再エネ導入と地域共生など適正な立地の継続
地域特性に応じた再エネ導入の検討
(災害対策としての太陽光発電など)